

第三十四回定例公演 公益社団法人能楽協会九州支部

ほおずき能



狂言

樋の酒

吉住 講

能

阿漕

狩野 了一

他 舞雛子・仕舞

令和6年

8月25日(日)

13:00開演 [12:00開場]

大濠公園能楽堂

福岡市中央区大濠公園1-5 TEL092-715-2155

全席自由

一般 5,000円(当日6,000円)

学生 2,000円 ※未就学児入場不可

プレイガイド

◆大濠公園能楽堂 092-715-2155

◆チケットぴあ

WEBまたはセブンイレブンにて販売 [Pコード 525-716]

◆ローソンチケット

WEBまたはローソン、ミニストップにて販売 [Lコード 84333]

《事前講座》

8月8日(木) 18:30開演 (18:00開場/19:30終了予定)

会場/大濠公園能楽堂楽屋(楽屋入口より入場)

◎入場無料(どなたでも受講できます)



交通アクセス

■地下鉄
「大濠公園」または「唐人町」下車
徒歩7分

■西鉄バス
「黒門」または「大濠公園」下車
徒歩5分

主催/公益社団法人能楽協会九州支部

後援/福岡県 福岡市

第二十四回定例公演 公益社団法人能楽協会九州支部

ほおずき能

舞囃子(観世流)

狂言(和泉流)

東方朔

多久島法子 大鼓 白坂 保行
多久島利之 小鼓 幸 正佳
太鼓 吉谷 潔
笛 森田 光次
井内 政徳
鷹尾 章弘
鷹尾 維教
久保誠一郎

樋の酒

太郎冠者 吉住 講

主 吉良 博靖
次郎冠者 野村 万禄

後見 上杉 啓太

仕舞(金春流)

笠之段

名和 長承

地謡

田中 秀実
櫻間 右陣
東 軍三

前漁師
後阿漕の霊

狩野 了一

能(喜多流)

〈休憩 二十分〉

仕舞(宝生流)

大江山

東川 光夫

地謡

久貫 弘能
山岡 晴美
石黒 実都

阿漕

男 御厨 誠吾

大鼓 白坂 信行
小鼓 飯富 章宏
太鼓 吉谷 潔
笛 浦 政徳

後見 高林 呻二
渡辺 康喜

地謡

工藤 義彦 大島 輝久
谷 友矩 金子敬一郎
狩野 祐一 栗谷 充雄

簾

仕舞(観世流)

山口剛一郎

地謡

今村嘉太郎
森本 哲郎
今村 一夫

終了予定 16時過頃

熊

野

村雨留

菊本 澄代 大鼓 白坂 保行
小鼓 幸 正佳

笛

森田 光次
多久島法子
菊本 美貴

地謡

今村 宮子
木月 晶子

◎仕舞...一曲の舞所を紋付・袴にて、
舞囃子を入れずに舞う事。
◎舞囃子...一曲の主要な部分を紋付・袴
にて、舞囃子を入れて舞う事。

《予告》

公益社団法人能楽協会九州支部 普及公演

クリスマス能

令和6年12月22日(日)13時開演

大濠公園能楽堂

◇入場料/全席自由 3,500円

能(観世流)「菊慈童」森本 哲郎

狂言(大藏流)「文荷」秋吉 英二

他、狂言小舞、舞囃子、仕舞

●演目解説●

狂言「樋の酒」

主人が外出する事になり、米蔵と酒蔵を預かる事になった太郎冠者と次郎冠者。酒蔵担当の次郎冠者は、寂しさしのぎに酒を飲み始めます。それを知った太郎冠者も、たまらず飲みたくなり、次郎冠者の機転でお酒を飲むことになりましたが...

能「阿漕」

日向国の者が伊勢参宮を思い立ち、伊勢国までやって来ます。ちょうど現れた一人の老漁師に、ここが阿漕が浦であることを教えられたので、この浦を詠んだ古歌を口ずさむと、老人も別の古歌を詠みます。そこで旅人が、この浦の名のいわれを聞くと、老人は、昔からこの浦は、神宮の御膳のための網を入れるところなので、禁漁となっていたが、阿漕という漁師が度々漁をしていた。やがてその事がわかって、彼は捕らえられ罰としてこの沖に沈められた。そのことから阿漕が浦というようになったと物語り、その罪に今も苦しんでいるので吊って下さい、と阿漕の幽霊であることをほのめかし、夕暮れの海辺に網を打つさまを見せると、急に海が暗くなり荒れて燈火も消え果て、恐ろしい叫びを残して闇の中にその老人は消え失せます。旅人は不思議に思っ